

「愛南町公立小中学校再編に関する答申書」に係る保護者説明会 会 議 録

- 1 日 時 令和3年10月13日(水) 19:00~20:30
- 2 会 場 長月小学校 屋内運動場
- 3 参加者 保護者11名、教職員2名
- 4 事務局 中村教育長、岩井学校教育課長、近田課長補佐、西田課長補佐

5 会議の概要

- (1) 開会 進行：西田課長補佐
- (2) 開会挨拶 教育長 中村 維伯
- (3) 説明事項

ア 「愛南町学校統廃合検討委員会」について
(岩井学校教育課長)

イ 「愛南町公立小・中学校再編に関する答申書」の説明について
(近田課長補佐)

ウ 意見交換

課長：協議の流れ、答申の内容、ご意見・質問ありましたら・・・。

〇〇：スクールバスは必ず出るのか？

課長：現在は、スクールバス、路線バス、コミュニティバス等に対応している。地域によって新たな課題が出てくる。学校のお子さんの住まわれている場所によって、スクールバス等の対応であるとか、新たな方法であるとかを検討しながら、通学に関する保障は何らか考えていく方針になっている。それを基に個々に応じた課題が出てきたら、話し合いながら対応していきたい。

課長：再編の枠組みを町によって決めさせていただいている。答申書では平城小学校となっているがどうでしょうか。アンケート等では「やむを得ない」ところになっている方が多いですがいかがでしょうか。

〇〇：地域のほかの学校を選んだり是可以？校区外通学について

課長：校区外通学、仮に平城を希望で城辺にというのは可能。でも校区外通学の場合、通学方法については保護者責任となる。

課長：平城小学校、御荘中でよいと捉えてよいのか？

〇〇：平城小・御荘中でいい。

課長：全員が両手を挙げて賛成というわけではないと思うが、了承してもらえるとよい。

課長：答申の中では、5年以内にできるところからとなっている。アンケートなどでは、2年前にCS等で回らせてもらったとき、保護者が決めるというよりは教育委員会で示してもらった方がよいという意見があった。逆に保護者の負担になるという意味合いだったと思う。例えば、こちらの学校だと人数の多い学年の卒業に合わせるとか、特別支援学級の児童が卒業するタイミングでという方法がある。これは人数を見ながらこちらが勝手に言っていることで保護者の方々の意見を聞きたい。

〇〇：小さい学校でも、大きい学校でもいいところがある

課長：僧都小学校も昔（平成18年）は、地元の方は残してほしいという思いが強かった。児童数が5名になり3年ほどかけて保護者の方と話し合った。地域の方にも保護者の方から投げかけ、令和3年度をもって閉校という判断をされた。

〇〇：過去の菊川小、赤水小の閉校の事例はあるのか。

課長：満倉小学校までは、年度を示しておりますが赤水・菊川については年度までは示されてなくて、地域の実情また、地域によって決めていこうという取組だった。赤水・菊川、中浦、東海は、保護者の方から1年2年かけて「この人数でやっていくのはどうなのだろう・・・。」ということが話し合われた。教育委員会とも協議を重ね、ぜひ閉校して新たな学校にという提案があった。地域の方にも保護者が丁寧に相談された。地域とのやり取りが、保護者も大変だったが、順次閉校、統合となった。

〇〇：その場合、菊川小・赤水小は平城小に行ったのか？

課長：旧御荘町のため保護者の方がそちらを希望された。

〇〇：地域の方に理解がないとだめなのか。菊川も地域の方の反対の意見が大きいようだった。

教育長：必ず学校を残してほしいという意見が出る。地域の方は、寂しいという意見は出る。学校運営協議会でも、「保護者の意見を最優先にしてほしい。子どもたちの教育環境を一番に考えてほしい。子どもの将来について、親が一番責任を持つ立場なので。」とお願いした。そうは言ってもやっぱり残してほしい…という意見は出ると思うがその時は、教育委員会と保護者で一緒になって地域の方を説得したい。

〇〇：兄弟などのうち、下の子までは…という意見があるなど、保護者の話し合いでも平行線をたどって難しいところがある。

課長：明確には伝えられないが、再編ということで皆さんの意思確認はしているが、細かいところまでは…。この年度でというのは、話し合いを進めて決めていきたい。上の子は卒業したけど、下の子は統合先の学校で卒業するという事は起こりうる。

教育長：複式が出てきたら再編という方もいる。1人の先生が2つの学年を教えるのは、1学年に教える時間も半分になるし無理がある。他市町では複式支援員の配置していない学校もある。

1人の学級が出た場合や、3学級以下になって県の条例で教頭先生や、養護教諭が配置されないことが起こると「なぜ統合しないのか・・・。」という声上がる事例もあるので、こちらから再編の話し合いを進めていきたいという思いがある。

保育所、幼稚園の保護者では、統合するののかということをお早くはつきりさせてもらわないと、今からの自分の子供の将来の計画が立ちづらいという声がある。下の子がいるかもしれない

ないが、保護者の了解を得ながら進めていきたい。

課長：計画を作成していく中で、いろいろな提案をしながら、保護者の方々にも意思確認をして進めていきたい。100%の案は出せないが、了解していただけたらと思う。

課長：通学については、何らかの手段を考えていきたい。すべてを網羅してできるかどうかは難しいところもあるが……。長月小から平城小学校まで4km弱ぐらい。ちょっと離れたところはどうするかということなど細かく拾い上げながら、提案出来たらと思う。

〇〇：使っている教材、児童が使う道具等が違うが、どうするのか。

課長：学年の途中で変わった場合には、体操服など学習に関するものは、補助していくつもりだし、今までもそうしている。中学校になれば制服等もあるのでしっかり対応したい。

〇〇：早ければ2年後の統合もあるのか？

課長：地域の人も、保護者も納得ならば早くなるのは問題ない。来年末（R3年度末）は無理なので、早くて2年後になる。

〇〇：修学旅行のしおりを見ていて、班の中で長月の子が1人で、あとは平城の子だった。それで楽しいのかなと思った。

〇〇：閉校までに当該校と計画的に交流学习などができるのか？

校長：平城小学校と交流学习があるが、コロナでここ2年はできていないのが実情。他の小さい小学校とも、年に2回程度いろいろな学校との交流もしている。平城小との交流は行ったり来たりを今まではしてきた。今年はできていないが、もし統合が決まったら平城小学校との交流の回数を増やす対応を考えていく。

教育長：僧都小も、前年までに最後の年にすることをある程度決めた。最後の運動会など、閉校の年に行うことはたくさんある。前もって決めておかないといけない。

〇〇：ある程度決めていただいたらよい。閉校の時期が平行線のまま、なかなか決まらない。

課長：提案させていただくことはできる。PTA会長さんとも相談しながら、この辺でどうですか？と提案させていただいてもよい。

〇〇：通学方法について。タクシーも？

課長：スクールバスを増やしてきたので、今は人手がいっぱい。経路の問題も含めて新たな方法を検討していきたい。場合によっては、どうしても路線から外れる子には保護者の方が可能であれば、自家用車をお願いするかもしれないが、なるべくスクールバスで対応したい。

教育長：タクシー会社がかなりいっぱいになっている。他の市や町ではバスの運転手を雇うなどしている。今後、いろいろ検討したい。

課長：一番平城小に近い方で何km？

〇〇：2～3km

〇〇：とりあえず保護者で出した方がいいですか？

教育長：会長と相談して、こちらから時期を提案していきたい。

〇〇：今日来られていない家庭もある。兄弟の多い人が来ていない。

課長：来られていない家庭の方には、学校を通じて今日の話合いの報告と意見をいただくようにしたい。3家庭（すみません4家庭でした）については、このような方向で進めていますという方向性を示す。意見があれば、教育委員会の方に言っていただきたい。他の意見があれば、言っていただいたら……。言いづらかったら校長にでも……。

(4) 閉会